

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年04月18日

計画の名称	横須賀市公共下水道事業（重点計画）														
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	横須賀市														
計画の目標	止まらない下水道のための施設の最適化														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		4,080	A	4,080	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	R03末
1	処理場の統廃合達成率を0%（H29）から100%（R03）に増加させる。			
	処理場の統廃合達成率	0%	0%	100%
	実施する統廃合処理区数/計画する統廃合処理区数（2処理区）×100			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	新設	下水道施設再構築事業（A-1）（下水道整備推進重点化事業）	上町・下町バイパス管 L=2,732m	横須賀市	■	■				1,966		策定済
	A07-002	下水道	一般	横須賀市	直接	横須賀市	-	新設	下水道施設再構築事業（A-2）（下水道広域化推進総合事業）	上町・下町バイパス管 L=2,732m 上町浄化センターポンプ場化	横須賀市			■	■	■	2,114		策定済
											小計						4,080		
											合計						4,080		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

事後評価の実施時期

本評価の実施に当たっては、評価の透明性、客観性、公平さを確保するため、学識経験者の意見を求めて評価を行いました。

令和6年3月

公表の方法

ホームページによる公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・下町浄化センター及び上町浄化センターの統廃合が完了し、「止まらない下水道のための施設の最適化」が図られ、従来より更新と運転管理に係るコストが縮減されました。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○ 特記事項（今後の方針等）

・下町浄化センター及び上町浄化センターの統廃合が完了したので引き続き適正な運用及び維持管理に努めていきます。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	処理場の統廃合達成率を0%（H29）から100%（R03）に増加させる。		
	最 終 目標値	100%	・ 効率的に事業の執行を行い、目標を達成しています。
	最 終 実績値	100%	

横須賀市社会資本総合整備計画に対する事後評価について

横須賀市で策定された社会資本総合整備計画（計画の名称：横須賀市公共下水道事業（重点計画）、計画の期間：平成 29 年度～令和 3 年度）に対する事後評価について、下記の内容が妥当であることを確認しました。

記

1. 事後評価の実施体制、実施時期
2. 事業効果の発現状況
3. 特記事項（今後の方針等）
4. 目標の達成状況

令和 6 年 3 月 22 日

関東学院大学 理工学部理工学科 准教授

鎌田 素之